

理工学部 建築学科(取得可能免許種:中学校・高等学校／数学 高等学校／工業)

VUCAの時代において、地球環境を含めた広範な人間の生活環境に対する的確な問題意識を持ち、生活基盤となる建築・都市空間の安全性、機能性、審美性の追究と、社会や環境への適切な配慮のできる包括的な知識と技能を修得し、さらには倫理観を持った建築設計および建築生産などにかかわる技術者の育成を目指すことが本学科の教育方針である。

こうした教育方針を基盤として、大学の教員養成の理念に基づき、本学科の教育の特長を活かし、主に以下の点に重点をおきながら、課題を発見して解決する能力のある指導力に優れた教員の育成を図る。

- 1) 建築設計および建築生産などにかかわる将来の技術者を育てる工業教育、および、その基礎となる数学教育を担うことができる教員を育成する。
- 2) 社会環境や社会情勢が認識でき、生徒目線で指導ができる人間性に優れた教員を育成する。
- 3) 課題を発見して解決する能力のある指導力に優れた教員を育成する。

上記の資質をもつ教員を育成するため、同学科においては、理工学部共通の教養科目に加え、2年次から3つのコースに分かれ、各コースが重視する専門教育を行えるように専門科目を配置している。専門教育はコアとなる科目を「共通系」「計画・環境系」「構造・生産系」に細分し、系統的に履修させる教育課程に編成している。これらのカリキュラムのもと、自然、社会に対する幅広い視野と教養を身につけ、技術が人間社会や自然に与える影響、および建築・都市工学技術者の果たすべき役割について理解し、幅広い知識を身につける。また、教員としてのコミュニケーション能力を有し、専門技術者の育成に必要とされる、意匠・構造・設備の全般的知識・技術を修得し、良質な建築・都市空間の提案ができ、構造設計能力を身につけ、施工生産過程を理解した能力を身につける。

さらに、各科目においてはグループワークやプレゼンテーションを適宜取り入れ、1年次から一貫性のある少人数教育、設計演習や実験等の実践的教育による知識の応用・高度な技術の修得においては、学生の能動的な学習意欲を生み出すアクティブ・ラーニング型式の授業を通じて、課題を発見して解決する能力を高める。